

Cafe de 寺子屋

～地域のカフェで大学生が子どもの学びを支援する～

問題意識と経緯

【問題意識】

- 成績や学校での勉強に縛られ、自由な学びを得る機会が少ない
- 地域交流の希薄化により、子どもたちが地元でのびのびと学習できる環境が少ない

【経緯】

- 2017年12月 当時山梨大学在籍の田中・関口が寺子屋ぴえぬの活動準備を始める
- 2018年2月 カフェ「Pied nu」を借りて活動を開始
- 2020年4月 寺子屋の活動を拡大するために学生団体を設立



「寺子屋ぴえぬ」とは？

甲府市にあるカフェを閉店後にお借りして、小学生から高校生までの子どもたちに大学生が無料で勉強を教えています。子供たちが持ってきた学校の課題や、テキストのわからないところを教えるなど、学習のサポートをしています。集中力が切れたら、無理に勉強させるのではなく、雑談をして休憩するなど、工夫して子どもたちが勉強に集中しやすい雰囲気づくりをしています。お店の協力や地域の方の支援に恵まれ、2年間で20名以上の子どもたちとともに学んできました。

目的と目標

【目的】

すべての価値観が尊重される中で、自分自身で判断し、言動を選択できる社会を実現する

（子どもたちが自分の意志で学習し、地域でのびのびと育つ環境をつくる）

【活動全体の目標】

2022年3月までに47都道府県に寺子屋を創る

【2020年度 山梨での目標】

- 2つ目の寺子屋を創り、地域で自由な学びを得られる場を増やす
- 交流会、研修を通して寺子屋の質を高める

活動について

【2020年度活動スケジュール】

- 5月 メンバー募集開始
- 8月 NPO法人化
メンバー交流会開催
- 9月 HPの開設

【年間を通して活動すること】

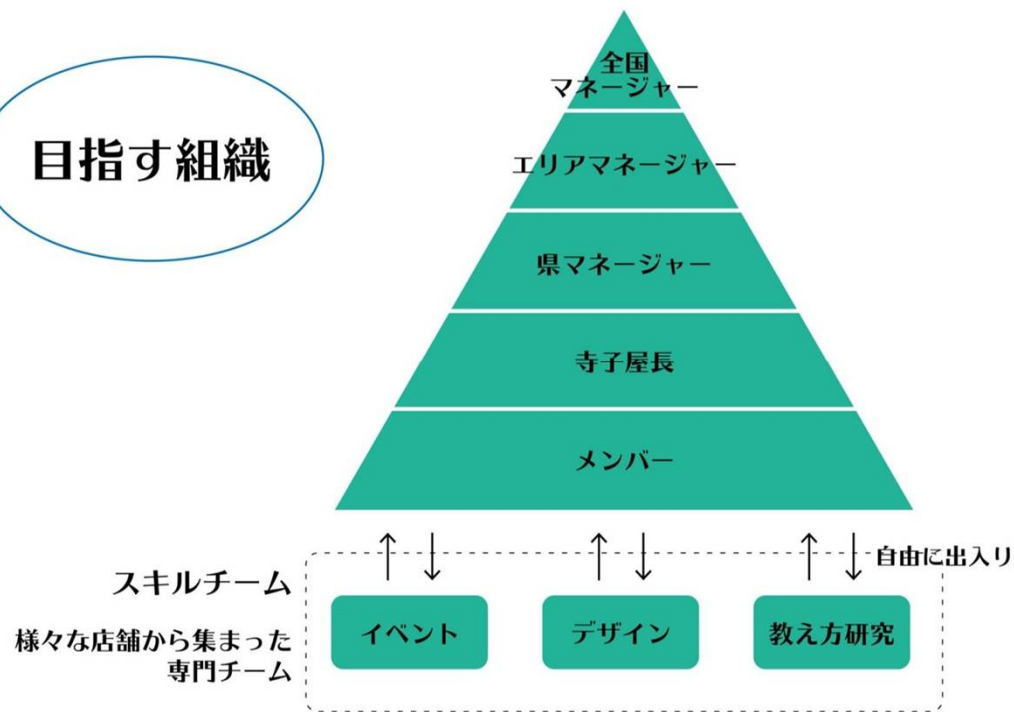
- SNSによる活動紹介で大学生や協力してくださるカフェを募る
- 寺子屋ぴえぬの活動を続ける
- 大学周辺のカフェに協力をお願いし、山梨県内に二軒目の寺子屋を開設して活動を拡大する
- チラシをカフェ・図書館・お店などに置いてもらって生徒を募集する

【挑戦していきたいこと】

- イベントを企画し、子ども・カフェ・地域住民の交流の場を設ける
- 全国でこうした活動を広げていく
- 学校や行政とも連携し、参加者を多く募る
- 実験・観察などを通じた体験に即した学びを提供する（昆虫採集や職業体験等）

活動体制

目指す組織



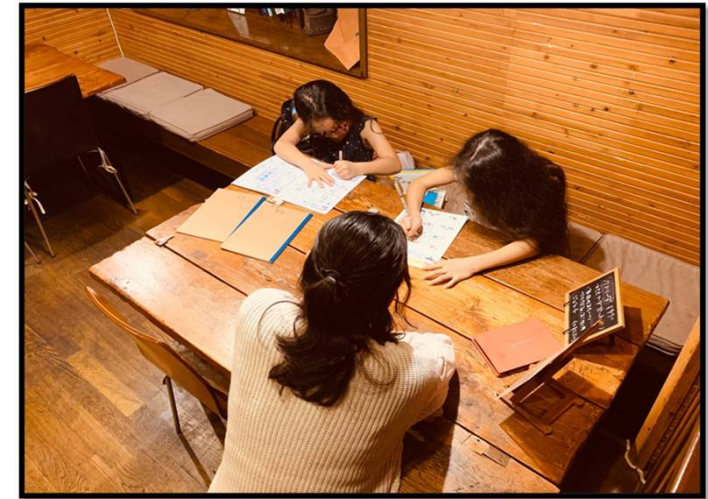
山梨県では14名が所属し、活動しています。

山梨大学	10名
山梨大学大学院	2名
山梨県立大学	1名
都留文科大学	1名

アピールポイント

多くの人のメリットになる！

- 子ども：自由に安心して学べる環境がある
- 家庭：家庭教育を補助できる
- 学校：カバーしきれない部分を寺子屋が補ってくれる
- 大学：活動を通して自己の成長に繋がる
- 地域：カフェを中心として町の賑わいをつくるきっかけになる
 - ：イベント開催により子どもと地域住民が交流する機会が生まれる



活動風景

大学生が創る
新しい学び場

Cafe de
寺子屋



協力してくれる方
大募集！

Cafe de 寺子屋
Instagram



Cafe de 寺子屋
Twitter

